


設備劣化が原因で発生する波及事故の防止について



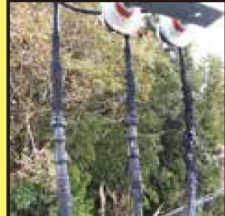
設備劣化の具体的実態

区分開閉器




【外観点検不良】
錆が進行すると水分が侵入し故障する可能性があります。外観に異常が出た場合は改修が必要です。

高圧ケーブル

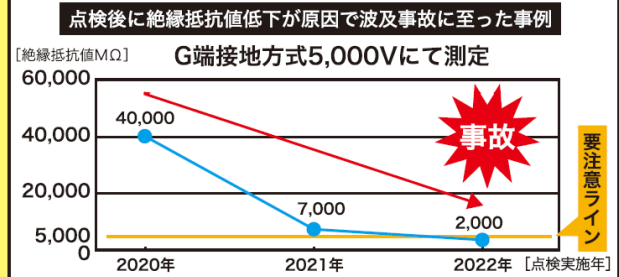


【絶縁抵抗測定不良】
端末部分の劣化や水分の侵入などで絶縁抵抗値が低下し故障する可能性があります。絶縁抵抗値低下の兆候が見られた場合は改修が必要です。

遮断器



【外観点検不良】
汚損物質が蓄積し、湿気の影響を受ける事で性能が著しく低下し、故障する可能性があります。外観に異常が出た場合は改修が必要です。



設備劣化が原因で発生する波及事故は早期に改修する事で未然に防ぐことが可能です。

※受電設備機器の詳しい状態は電気主任技術者にお問い合わせください。

適切な時期に更新することも必要です。

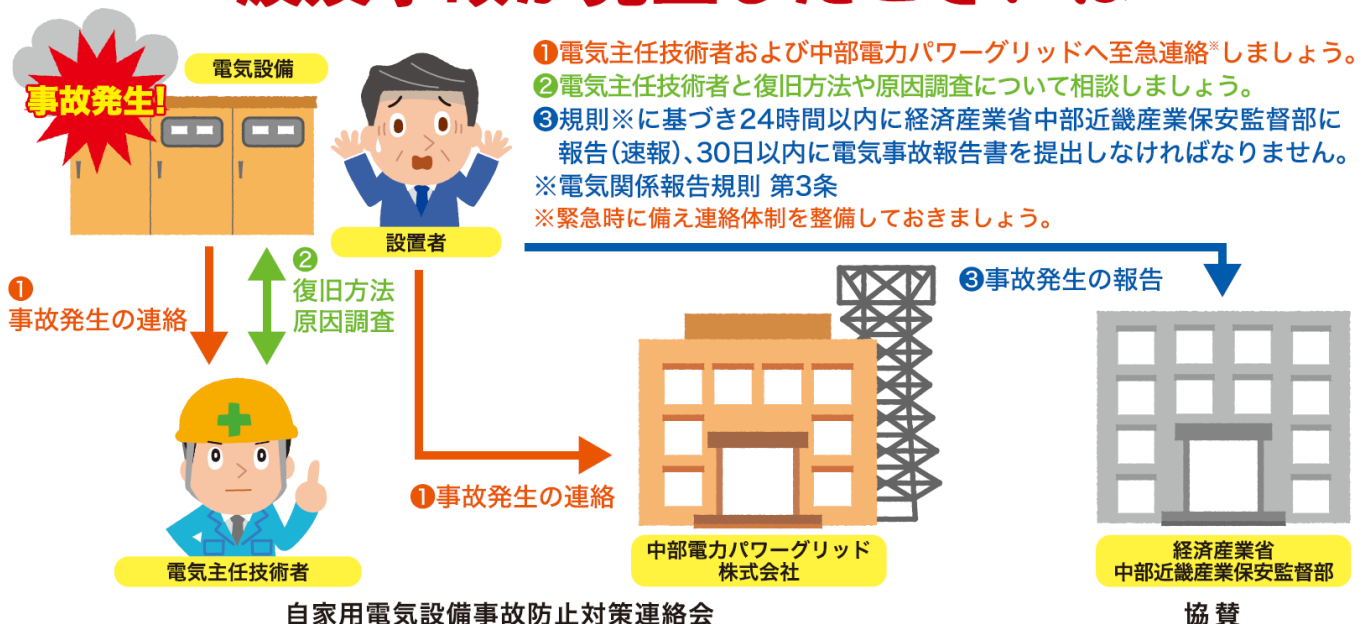
高圧設備の各機器の更新推奨時期(参考)

高圧受電設備の施設環境や、機器の使用状況によって更新時期が異なります。

高圧交流負荷開閉器	屋外用: 10年または負荷電流開閉回数200回 屋内用: 15年または負荷電流開閉回数200回 GR付開閉器の制御装置は使用開始後10年	高圧進相コンデンサ	15年
高圧CVケーブル	15年((一社)日本電線工業会調べ)	高圧配電用変圧器	20年
交流遮断器	20年または規定開閉回数	避雷器	15年

※参考: (一社)日本電機工業会「汎用高圧機器の更新のおすすめ」(2019年3月)

波及事故が発生したときには



経済産業省 中部近畿産業保安監督部
(一社) 中部電気管理技術者協会
(一社) 日本配電制御システム工業会中部支部

(一財) 中部電気保安協会
電気安全中部委員会

中部電力パワーグリッド株式会社
中部電気工業組合連合会

(一社) 日本電設工業協会 東海支部
(公社) 日本電気技術者協会 中部支部

(順不同)